

地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和5年7月21日)

[件名]

- 7月13日の大雨に係る被害状況等について
(危機対策・情報課) … 2
- 島根原子力発電所の安全対策等の状況について (第16報)
(原子力安全対策課) … 3
- 原子力災害時に備えた避難先及び避難経路確認訓練 (米子市) の実施
結果について
(原子力安全対策課) … 4
- 令和5年度第1回鳥取県原子力安全顧問会議の開催結果について
(原子力安全対策課) … 5
- 第69回鳥取県消防ポンプ操法大会の開催結果について
(消防防災課) … 6

危機管理局

7月13日の大雨に係る被害状況等について

令和5年7月21日
危機対策・情報課

1 降雨の状況

山陰沖にのびる梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだことと上空の寒気の影響により、大気の状態が非常に不安定となり、13日未明から発達した雨雲が日本海から次々と流れ込んだため、鳥取県では沿岸部を中心に大雨となった。

- ・今回の降雨では、東部地区沿岸部を中心に短時間に大きな雨量の降雨が局地的に発生した。
- ・鳥取市湖山・青谷では、7月1か月分の平年雨量を超える雨量が12時間のうちに降った。
- ・13日7時10分に鳥取市気高付近で記録的短時間大雨情報（約90mm/h）が発表（気象庁解析）。

<記録的な雨量となった地点> ※7月13日の日最大値

地点	1時間雨量※	12時間雨量※	7月の平年値	備考
鳥取市 湖山	61.5mm	223.5mm	163.2mm	1時間雨量は7月の最大、12時間雨量は史上最大
鳥取市 青谷	72.0mm	202.0mm	185.9mm	1時間雨量は観測史上最大
鳥取市 鳥取	57.0mm	169.5mm	188.6mm	

2 主な被害状況（18日17時現在）

項目	被害状況
人的被害	なし
住家被害	床上浸水13棟（鳥取市）、床下浸水41棟（鳥取市・米子市・岩美町）
避難情報	<全て解除・閉鎖> ・避難指示：鳥取市（吉成南町、福部町細川、高住）、岩美町（全域）5,488世帯13,193人 ・高齢者等避難：鳥取市（湖山ほか7地区）、湯梨浜町（泊）20,097世帯47,810人 ・避難所開設：15箇所、避難者数：14人（13日15:00時点）
停電	<全て復旧>岩美町840戸、境港市1,410戸
農林水産関係	・鳥取市福部町の果樹園11園で樹園地斜面が崩落（今後とも増加する可能性あり。被害額は調査中） ・鳥取市円護寺の林道十神（とがみ）線で路肩崩壊2箇所、水路閉塞土砂堆積1箇所（被害額10,000千円）
道路・河川関係	・道路冠水等のため県管理道路8箇所、国管理道路1箇所ですべて全面通行止めが発生（全て解除済） ※その他公共土木施設被害については現在調査中
公共交通機関関係	・航空便、鉄道、バスにおいて運休・遅延等多数（13～14日） ・末恒～宝木駅間の土砂流入、法面崩落により、鳥取～倉吉駅間で14日から15日午前にかけて運転取り止め（復旧済）
学校臨時休業（公立・私立）	13日：臨時休業33校、始業時間の変更16校、授業打ち切り21校 14日：臨時休業8校、始業時間の変更5校
その他の被害	・福祉施設において浸水被害が発生し、入所者等が消防のゴムボート等で救出され、別施設へ避難 ・病院の地下給水ポンプが水没し水道・トイレが使用不可になったが、給水車や応急給水栓で給水対応。鳥取市が簡易トイレを提供。透析患者は他機関での受入を調整。 ・米子城跡の石垣下の斜面が崩落

※知事は全米知事会議から帰国後、速やかに被災現場に赴き状況を把握（7/17）

3 今回の大雨の特徴・教訓と今後の対応

- 今回の大雨を教訓に今回の総括を行い、特に冠水など「内水氾濫」への対策を検討
 - ・事前の気象予測を超えた、これまで経験のない記録的な大雨
 - ・市街地における排水能力を超えた短時間の豪雨（道路の冠水、医療機関等の浸水被害等の発生）
 - ⇒普段からの備えや対応行動等の普及啓発
 - ⇒水害に関する「市町村長等防災危機管理トップセミナー」（8/2）、市町村との防災対策研究会
 - ⇒周辺地域の降雨量や道路の状況等学校の個別状況に即した臨時休業等の判断基準の点検・見直し等
- 大雨被害からの早期復旧に向けた支援
 - ⇒果樹園等の再建に向けた迅速な応急復旧として、7月19日付けで災害復興調整費1千万円発動（既定予算（しっかり守る農林基盤交付金、林道施設災害復旧事業等）の活用と合わせ支援を強化）

島根原子力発電所の安全対策等の状況について（第16報）

令和5年7月21日

原子力安全対策課

島根原子力発電所2号機及び3号機の原子力規制委員会による審査状況は次のとおりです（前回報告はいずれも6月28日の常任委員会です）。

1 島根原子力発電所2号機

令和3年9月15日発電用原子炉設置変更許可。

(1) 審査

ア 設計及び工事の計画の認可申請の審査（前回報告から変化なし）

平成25年12月25日申請。

補正書提出8回、審査会合9回、ヒアリング495回（7月13日現在）。

イ 保安規定変更認可申請の審査（前回報告から変化なし）

平成25年12月25日申請。

補正書提出1回、審査会合1回、ヒアリング3回（7月13日現在）。

(2) 安全対策工事（前回報告から変化なし）

中国電力は安全対策工事の完了予定時期を令和6年5月と公表している。

現在、防波壁の補強工事や津波漂流物対策工事、アクセスルートの改良工事等を行っている。

(3) 高経年化対策

7月20日に中国電力は、平成30年2月7日に提出した高経年化対策に係る保安規定変更認可申請の補正書（2回目）を原子力規制委員会に提出した。今回の補正は、設計及び工事の計画の認可の審査内容（耐震設計）を反映させるものである。

(4) 特定重大事故等対処施設及び所内常設直流電源設備（3系統目）の審査（前回報告から変化なし）

平成28年7月4日申請。

補正書提出1回、審査会合16回、ヒアリング39回（7月13日現在）。

2 島根原子力発電所3号機（前回報告から変化なし）

平成30年8月10日申請。

補正書提出2回、審査会合5回。5月18日以降、審査会合は開催されていない。

原子力災害時に備えた避難先及び避難経路確認訓練（米子市）の実施結果について

令和5年7月21日
原子力安全対策課

原子力災害時の避難元地区の住民に、広域住民避難計画で計画している避難経路、避難退域時検査会場、避難先施設等を実際に確認していただくことにより、避難計画に対する理解促進、住民不安の軽減及び避難受入れ先関係者の理解促進等に繋げることで、避難計画の実効性向上を図ることを目的に訓練を実施しました。なお、訓練は、避難先となる湯梨浜町の協力を得て実施しました。

- 1 日 時 7月9日（日） 午前10時10分から午後4時20分まで
- 2 訓練内容 原子力災害時の避難経路、避難退域時検査会場及び避難先の確認
- 3 参加人数 米子市富益地区住民 32名
- 4 訓練概要 避難計画に基づき、一時集結所（富益公民館）から、山陰道等の避難経路を走行し、避難退域時検査会場（名和農業者トレーニングセンター）を視察、湯梨浜町役場にて避難先施設の概況説明等を受けた後、各避難先施設を確認した。
- 5 訓練行程 ※主な避難経路：国道431号線～山陰道～国道9号線～県道234号線

時間	場所	訓練内容等
10:10	米子市富益地区	一時集結所に集合、バス3台に乗車し訓練を開始
11:00～11:20	名和農業者トレーニングセンター（大山町）	避難退域時検査会場の視察、避難退域時検査（放射性物質の付着を調べる検査）の説明・実演
13:00～14:00	湯梨浜町役場	湯梨浜町職員による避難先施設等の概況説明・防災講話
14:00～15:00	各避難先施設	3グループに分かれ避難先施設を確認（計14施設）
16:20	米子市富益地区	帰着、訓練終了



避難退域時検査会場視察・説明
（名和農業者トレーニングセンター）



避難先施設等概況説明・防災講話
（湯梨浜町役場）



避難先施設確認
ほくめい
（北 溟 体育館）

6 参加者の声

- ・ どの行動すべきか手順が理解できた。地域住民に知ってもらえるように活動を積み重ねたい。
- ・ 避難先施設の説明の際、各施設の外観や室内の写真を提示してもらえたため、避難先の生活環境等がより想像しやすくなった。
- ・ 富益地区の避難先のことについて、以前より理解することが出来た。
- ・ 避難所でのプライバシーへの配慮、室内テントや簡易ベッドの準備があることを知り安心した。
- ・ 自家用車避難を行った際の避難先での駐車場所の確保や、夏・冬の時期に冷暖房設備がない避難所へ長期間避難する場合の生活環境の更なる向上に期待する。

7 備考

- ・ 本訓練は平成27年度から実施しており、今回を含めて延べ12回、274名が参加。
- ・ 境港市の避難先及び避難経路確認訓練は秋頃に実施予定。

令和5年度第1回鳥取県原子力安全顧問会議の開催結果について

令和5年7月21日

原子力安全対策課

地域防災計画（原子力災害対策編）及び広域住民避難計画（島根原子力発電所事故対応）の修正案、並びに本県の環境放射線モニタリングの調査結果等について、専門的な観点から審議、確認いただくことを目的として、次のとおり原子力安全顧問会議を開催しました。

1 開催日時 7月5日（水）午前11時～正午

2 開催場所 県庁災害対策本部室 ※Web 併用

3 出席者

(1) 県原子力安全顧問（17名中13名出席）

占部顧問、遠藤顧問、藤川顧問、甲斐顧問、片岡顧問、北田顧問、望月顧問、吉橋顧問、佐々木顧問、香川顧問、西田顧問、河野顧問、梅本顧問

(2) オブザーバー

米子市、境港市、三朝町、県関係課

4 議題等と主な意見

(1) 議題

①地域防災計画（原子力災害対策編）、広域住民避難計画（島根原子力発電所事故対応）の修正案

- ・修正案について了承
- ・訓練の教訓や新たな知見等を踏まえた継続的な改善がなされているなど、一定の実効性が認められると評価

○主な意見

- ・昨年の訓練で得られた教訓（交通事故時の避難ルート変更、放置車両の移動等）、原子力防災支援基地の整備、国の防災基本計画、原子力災害対策指針の改正内容の反映のほか、計画全体の構成が見直されていることを確認した。
- ・今後も訓練の実施・検証と計画修正というPDCAサイクルを回して継続的に実効性を高めていくこと、避難計画の普及啓発や防災訓練への住民参加等により、県民理解を進めること。

今後、鳥取県地域防災会議での審議を経て、運用を開始します。

②令和4年度環境放射線等測定結果

- ・測定結果について了承
- ・令和4年度のモニタリングは適正に行われ、島根原発、人形峠センターによる影響は認められないと評価

○主な意見

- ・測定結果が概ね平常の変動幅に入り、超過したものについて原因を確認した結果、原子力施設による環境への影響は認められない。
- ・測定値が最大値、最小値だけでなく、その分布状況が分かりやすく表記されている。

③令和5年度環境放射線等測定計画案

- ・測定計画案について了承
- ・令和5年度の測定計画が妥当であると評価

(2) 報告事項

①原子力防災対策（令和4年度結果、令和5年度予定）

○主な意見

- ・モニタリング測定を通じた福井県との人事交流は良い取り組みである。
- ・防災訓練は全体訓練も重要だが、個別の機能訓練も重要であるので、顧問としても訓練計画に協力したい。

5 その他

- ・会議結果はホームページで公開 <https://www.genshiryoku.pref.tottori.jp/index.php?view=10908>
- ・モニタリングは引き続き24時間ホームページで公開 <http://monitoring.pref.tottori.lg.jp/>

第69回鳥取県消防ポンプ操法大会の開催結果について

令和5年7月21日
消 防 防 災 課

消防団員が火災から地域住民の生命・身体・財産を守るために必要な技術の向上及び士気の高揚を図り、もって消防団の消防活動の充実に寄与することを目的として、次のとおり「第69回鳥取県消防ポンプ操法大会」を開催しました。

なお、今年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大の懸念が残るため、観客は消防関係者（家族含む）のみに制限し、イベントの実施も自粛しました。

- 1 開催日時 令和5年7月2日（日）午前10時から午後3時30分まで
- 2 開催場所 鳥取県消防学校 屋外訓練場（米子市流通町1350番地）
- 3 主催 鳥取県、公益財団法人鳥取県消防協会

4 出場分団

出場する分団は各地区の予選を経て決定

- (1) ポンプ車操法の部 計12隊（5人で1隊）
- (2) 小型ポンプ操法の部 計12隊（4人で1隊）
計24隊 132名
- (3) 軽可搬ポンプ操法披露の部 北栄町女性消防隊



開会式 選手宣誓の様子



放水の様子

5 成績

ポンプ車操法の部の優勝の米子市消防団夜見分団は4年連続の優勝です。

	ポンプ車操法の部	小型ポンプ操法の部
優勝	米子市消防団 夜見分団	日野町消防団 第1分団
準優勝	日吉津村消防団	鳥取市消防団 福部地区団
第3位	鳥取市消防団 鳥取湖山分団	米子市消防団 河崎分団



表彰式の様子

6 全国大会への出場

10月21日（土）に東京臨海広域防災公園で開催される第25回全国女性消防操法大会に鳥取県代表として、北栄町女性消防隊が出場します。

（ポンプ車操法の部、小型ポンプ操法の部の全国大会は、女性消防操法全国大会との隔年開催のため、本年度の開催はありません。）